

べく十分な、全国的組織をもたない、日本の無産者運動は、今、かつて見ざる若難と、試験の秋に置かれて、死の戦ひを闘ひつゝある。

即ち農村に於ては、小作人は、官憲のサベルと法儀の援助の下に行はるゝ、土地立入禁止、立毛押差へ等の敵術の爲めに、父祖代に耕作し来りし、畝着多き土地を奪ひ去られ、爲めに、彼等の唯一の糧道はた、水、都会に於ては労働階級は、官憲の孤迫と暴行團の先鋒の爲めに、彼等が永年の苦闘によりて、かち得た労働條件は、概下され、彼等が血と肉とを以てあかすひひし國結の権利は、暴行にも蹂躪され、労働階級の資本に對する鞭撻は日を追つて甚だしく人としておる。即ち、農民の耕作権、労働階級の團結権、職業権は、合法化された組織的暴力によつて破壊され、無産階級の言論、集会、結社の自由は、未曾有の暴行によつて迫奪されて居るのである。

斯の如き吾水國現在の社会的情勢の下に於て、吾が労働者農民の当面の任務は、窮迫せる自己の生活を打開する爲めに、ブルジョア階級に對抗して、耕作権、團結権、職業権の確立、言論、集会、結社の自由、小作人及労働者の完全なる組合法の獲得等の、労働者及農民の要求を覆ひとするための、一大大衆的政治闘争を開始すること、これである。

しかしながら、この大衆的政治闘争は、無産者運動を、その行くべ

き方向に勇敢に指導する、階級的無産政党と、之を支持する、労働農團體の集中され統一された、全国的組織なくしては遂行されざるものではない。

しかも一歩退いて、日本の無産者運動の現状を冷静に觀察すると、吾等は当面必要とする、この大衆的政治闘争を遂行すべく、吾等の力が充分でない事を遺憾ながら認めざるを得ない。

何故ならば、吾等が對抗せんとする資本家階級の陣營は、その自身すでに集中され、統一された全国的組織の完成に成功し、しかもその外縁は、國家の権力と、資本主義的意識によつて、完全に武装された、あらゆる反動團體によつて、一重三重に防衛され居る。

之に反して、日本の無産者運動の現状は、労働運動の方面に於ては、今尚ほその組織の中に、職業的組合と産業別組合との並立をゆるし、組織されたものと並し、数百の小組合に分裂して、しかもそのうちのあるものは、右翼官僚幹部によつて指導され、彼等幹部の、資本家階級との野合と協力をも、看過しつゝ、ある状態にある。

農民運動に於ても、状態は労働運動と何れも異なる。その力は尚ほ全国的に統一されておらず、本年五月に、大阪労働社会主義の提唱によつて、全国組合会議は開催され、全無産階級の要求する、労働農聯合は完成されざるや